



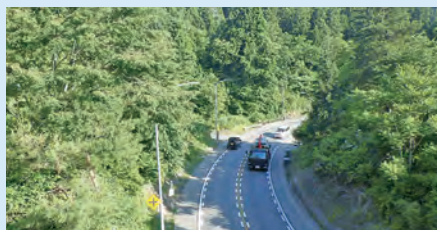
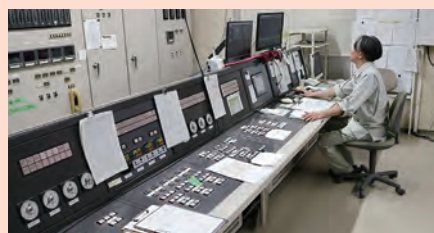
県に要望書を提出 ～早期実現を願う～

6月19日、菅原議長は田宮町長とともに山形県置賜総合支庁を訪問し、「令和9年度重要事業要望書」を総合支庁長に手渡しました。

主な要望（抜粋）

水道事業の広域化

1市2町（長井市・飯豊町・白鷹町）の広域化検討が着実に進展するよう、事業体間調整や支援等の継続的な関与をお願いしたい。



国道348号の高規格化による再整備

西置賜地域住民にとっては中核都市山形市への不可欠な路線。一方、死亡事故や法面崩落などが連続して発生している。高規格化による再整備をお願いしたい。

主要地方道長井大江線道路改築

町内、東横田尻・高田架道橋（フラワー長井線）から鮎貝駅前までの区間は、歩道がないうえ道幅も狭く、地域住民は不安を抱えている。早期改築をお願いしたい。



個別最適な学びの充実

児童・生徒1人ひとりに応じた「個別最適な学び」を実現するため、財政支援の拡充と、教員業務支援員や専門的知識を有する人材の計画的な配置をお願いしたい。

●その他の要望事項

- ・白鷹高等専修学校への支援の充実
- ・地域医療の確保
- ・有害鳥獣対策への支援
- ・酪農業の持続可能な支援 など15項目